

Title	経済学会事業報告 (2004年度)
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	2005
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.98, No.1 (2005. 4) ,p.133- 137
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-20050401-0134

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

慶應義塾経済学会会則

- 第1条 本会は慶應義塾経済学会 (The Keio Economic Society) と称する。
- 第2条 本会は経済学の研究およびその奨励、ならびに会員相互の親睦を図ることを目的とする。
- 第3条 本会は前条の目的を達成するため次の事を行なう。
- 1 研究会の開催
 - 2 機関誌『三田学会雑誌』およびその他研究成果の刊行
 - 3 講演会、資料展覧会の開催
 - 4 他の学会および諸団体との連絡
 - 5 その他本会の目的を達成するため適当と認める事業
- 第4条 本会は慶應義塾大学経済学部所属専任者のうち経済学を専攻する者をもって組織する。ただし特別会員をおくことができる。
- 第5条 本会に次の役員を置く。
- 1 会長 1名
 - 2 副会長 1名
 - 3 委員長 1名
 - 4 副委員長 1名
 - 5 委員 若干名
 - 6 監事 2名
- 第6条 会長、副会長、委員長、副委員長、委員および監事は、総会において決定する。
- 第7条 会長は本会を代表する。副会長は会長を補佐する。委員は委員会を組織し会務を執行する。委員長は委員会を代表し会務を統轄する。副委員長は委員長を補佐する。監事は会計を監査する。
- 第8条 会長および副会長の任期は1年、委員長、副委員長、委員および監事の任期は2年とする。ただし再選を妨げない。
- 第9条 会長は年一回総会を招集する。ただし必要に応じ臨時総会を招集することもできる。
- 第10条 会員は機関誌『三田学会雑誌』およびその他本会刊行物の配布を受けることができる。
- 第11条 本会の経費は賛助金、補助金、会費およびその他の収入をもってこれに充てる。
- 第12条 本会の会計年度は毎年4月1日より翌年3月31日迄とする。
- 第13条 本会会則の変更は総会の決議による。
- 第14条 本会の事務局は慶應義塾経済学部研究室内に置く。

経済学会委員 (2005.4 改選)

会 長	松村高夫		
副 会 長	山田太門		
委 員 長	高梨和紘		
副委員長	前多康男		
委 員	瀬古美喜	津谷典子	友部兼一
	河井啓希	藤田康範	玉田康成
	武山政直	赤林由雄	大平 哲
	山田篤裕		
監 事	清水 透	大村達弥	

経済学会事業報告 (2004 年度)

〈刊行物〉

- 『三田学会雑誌』97巻1号～4号
『別冊三田学会雑誌——経済学会情報 2004——』
『別冊三田学会雑誌——スタディガイド 2004——』
Keio Economic Studies, Vol.41, No.1, No.2

〈講演会〉

- 経済学部共催 (学生向け、同時通訳付)
10月7日 “Protection and Real Wages: The History of an Idea”
(「貿易保護と実質賃金：国際貿易理論の歴史」)
Xerox Professor of Economics, University of Rochester Ronald W. Jones
司会：木村 福成
- 経済学部共催 (学生向け、同時通訳付)
11月11日 「地球温暖化にどう対応するか」
Visiting Professor of Climate Change and Energy Policy, Imperial College, London Michael John Grubb
司会：山口 光恒

〈報告会〉

1. 4月8日 「中央銀行間協力の歴史像——国際決済銀行の視点から——」
東京都立大学 矢後 和彦
司会：飯田 恭
2. 公共経済学セミナー, 21COE, TCER 共催
4月9日 “Government Financial Institutions: What should the Japanese government reform?”
土居 丈朗
司会：木村 福成

3. 公共経済学セミナー, 21COE, TCER 共催
4月16日 “Inflation Target as a Buffer against Liquidity Trap”
日本銀行金融研究所 西山 慎一
司会: 赤林 英夫
4. 公共経済学セミナー, 21COE, TCER 共催
4月30日 “The Formation of International Production/Distribution Networks in East Asia and Latin America: What Can FTAA Do?” 木村 福成
司会: 瀬古 美喜
5. 公共経済学セミナー, 21COE, TCER 共催
5月7日 “Bank Regulation and Market Discipline around the World”
学習院大学 細野 薫
司会: 櫻川 昌哉
6. 公共経済学セミナー, 21COE, TCER 共催
5月14日 “Causality and the Impact of a Shock to Public Infrastructure Spending” 筑波大学 Radha Balkaransingh
司会: 瀬古 美喜
7. 社会経済史学会関東部会共催
5月20日 “The Impact of the New Deal on Infant Mortality in the South”
アリゾナ大学経済学部 Price Fishback
司会: 友部 謙一
8. 公共経済学セミナー, 21COE, TCER 共催
5月21日 “Real Options in a Duopoly Market with General Volatility Structure” (joint work with Masaaki Kijima)
横浜国立大学 芝田 隆志
司会: 木村 福成
9. 5月25日 “On the Shapley NTU Values of Games in Strategic Form”
京都大学経済研究所 渡邊 直樹
司会: 中山 幹夫
10. 公共経済学セミナー, 21COE, TCER 共催
5月28日 “Collaboration under Weak Complementarities” 信州大学 石田 潤一郎
司会: 玉田 康成
11. 公共経済学セミナー, 21COE, TCER 共催
6月4日 “Heterogeneous Costs of Business Cycles with Incomplete Markets”
Concordia University 向山 敏彦
司会: 土居 丈朗
12. 公共経済学セミナー, 21COE 共催
6月11日 “Did the U.S. Patent Reforms in the 1980s Give High-tech Firms Opportunity, Difficulty, or Nothing? An Empirical Study”
Cornell University 絹川 真哉
司会: 中妻 照雄
13. 6月15日 “Premarital Pregnancy and Spouse Pairing Patterns in Japan”
University of Wisconsin–Madison James M. Raymo
司会: 津谷 典子
14. 公共経済学セミナー, 21COE, TCER 共催
6月18日 “Active Labour Market Programmes and Unemployment in a Dual Labour Market”
名古屋商科大学 福島 淑彦
司会: 赤林 英夫
15. 6月21日 “Market Integration and Standard of Livings in Modern Japan: 1899-1939” 京都産業大学 斎藤 健太郎
司会: 友部 謙一
16. 公共経済学セミナー, 21COE, TCER 共催
6月22日 “Effects of Maternity Leave Coverage on Women’s Labor Market Outcomes” The Ohio State University Masanori Hashimoto
司会: 樋口 美雄 (商学部)
17. 公共経済学セミナー, 21COE, TCER 共催
6月25日 “On the Costs and Benefits of a Mixed Educational System”
大阪大学 田中 隆一
司会: 赤林 英夫
18. 公共経済学セミナー, 21COE, TCER 共催
6月29日 「パネルデータの回帰分析に潜在クラスを導入する三つの異なる方法のそれぞれの長所と短所について: 政権支持安定度の分析への応用」
The University of Chicago 山口 一男
司会: 樋口 美雄 (商学部)
19. 7月1日 「グローバリゼーション・アメリカ深南部・日本」
Michigan State University 清水グスリーさゆり
司会: 古田 和子

20. 公共経済学セミナー, 21COE, TCER 共催
7月2日「技術革新と雇用」
立命館大学経済学部 坂田 圭
司会: Colin McKenzie
21. 公共経済学セミナー, 21COE, TCER 共催
7月9日 “Measuring Capital Intensity in
the Postwar Japanese Economy—A
Two-sector Approach—”
明治学院大学経済学部経済学科 高橋 青天
司会: 矢野 誠
22. 7月12日「戦前日本における農家族像の再検
討——労研・農業労働調査所の農村女性調査
から——」
横浜国立大学経済学部 大門 正克
司会: 矢野 久
23. 7月12日 “Moving Mountains: Meiji Men
and the Quest for Geographical En-
lightenment in the Japanese Alps”
Stanford University Karen Wigen
司会: 友部 謙一
24. 公共経済学セミナー, 21COE, TCER 共催
7月16日 “Optimal Exchange Rate System
in Two Countries with the Rest of the
World”
“The Basket-peg, Dollar-peg, and
Floating: A Comparative Analysis”
吉野 直行
司会: 瀬古 美喜
25. 公共経済学セミナー, 21COE, TCER 共催
7月16日 “Strategic Firm Behavior in the
Japanese Oil Industry”
北九州市立大学経済学部 後藤 宇生
司会: Colin McKenzie
26. 9月4日「小経営的生産様式論: マルクス経済
学から農業問題へのアプローチ」
岩手大学連合大学院 玉 真之介
司会: 友部 謙一
27. 公共経済学セミナー, 21COE, TCER 共催
10月1日「特許ライセンス問題の協力ゲーム理論」
京都大学経済研究所 渡邊 直樹
司会: グレーヴァ 香子
28. 10月2日「関係性データベースの構築: 家系図
作成とコミュニティ支援のために」
椋山女学園大学 杉藤 重信
司会: 友部 謙一
29. 数理経済学研究センター 共催
10月4日 “Open Problems in the Calculus
of Variations”
University of Oxford John M. Ball
司会: 丸山 徹
30. 10月5日 “The Series <Klassiker der Na-
tionalökonomie>: The Creation of a
Canon and the Role of Asian Classics
in the History of Economic Thought”
フランクフルト大学 Bertram Schefold
司会: 池田 幸弘
31. 10月5日 “U.S. Information Technology
Revolution and Its Impact on Indus-
trial Structures of Korea and Taiwan”
Pennsylvania State University
John Riew
司会: 前多 康男
32. 日本国際経済学会, 21COE, TCER 共催
10月8日 “Globalization: Civil and Cul-
tural Conflicts”
University of Rochester
Ronald W. Jones
司会: 大山 道広
33. 公共経済学セミナー, 21COE, TCER 共催
10月15日 “Fragmentation in East Asia:
Further Investigation”
木村 福成・安藤 光代 (21COE 研究員)
・高橋 悠也 (研究助手)
司会: 瀬古 美喜
34. 公共経済学セミナー, 21COE, TCER 共催
10月22日 “Is Training More Frequent When
the Wage Premium is Smaller? Evi-
dence from the European Community
Household Panel”
University of Padova
Giorgio Brunello
司会: 矢野 誠
35. 公共経済学セミナー, 21COE, TCER 共催
10月29日 “Causes and Impacts of Overseas
R&D Activities by Japanese Multina-
tional Enterprises”
東京都立大学経済学部 戸堂 康之
司会: 若杉 隆平

36. 公共経済学セミナー, 21COE, TCER 共催
11月5日 “Technology Shocks and Work Hours in the US, Europe and Japan: Evidence from a New VAR Approach” (joint work with R. Anton Braun)
横浜国立大学大学院国際社会科学研究所
塩路 悦朗
司会: 若杉 隆平
37. 11月6日「高度経済成長期に始動した母子保健政策再考——『母子保健センター事業』の顛末——」 同志社女子大学 中山 まき子
司会: 友部 謙一
38. 11月8日「農村における『小作人化』と『労働者化』——近世土地制度史の日独比較に関する二三の覚書——」 飯田 恭
司会: 矢野 久
39. 11月9日「アローの補題の拡張と応用——複数の道徳原理をどう整合化するか」
一橋大学 鈴木 興太郎
司会: 川又 邦雄
40. 11月11日「ドイツにおける生活水準へのナチ軍需計画の影響 1933年-1938年」
ホーエンハイム大学 Mark Spoerer
司会: 矢野 久
41. 公共経済学セミナー, 21COE, TCER 共催
11月12日 “Adjusting Global External Imbalances; China’s Role and Its Implications for Asian Countries”
元 IMF 中国代表事務所所長 大谷 一朗
司会: 川又 邦雄
42. 11月15日「第三帝国における強制労働と補償」
ホーエンハイム大学 Mark Spoerer
司会: 矢野 久
43. 公共経済学セミナー, 21COE, TCER 共催
11月26日「銀行の株式保有とリスク」
一橋大学大学院商学研究科 小西 大
司会: Colin McKenzie
44. 11月29日「戦後ドイツ企業のアメリカー化——生産と販売のアメリカー的理想像」
ルール・ボーフム大学歴史学部
Christian Kleinschmidt
司会: 矢野 久
45. 12月2日 “The Poor Law of Lunacy”
Nottingham University Peter Bartlett
司会: 松村 高夫
46. 公共経済学セミナー, 21COE, TCER 共催
12月3日 「借入れ制約と消費行動」(joint work with ホリオカ・チャールズ ユウジ)
大阪府立大学経済学部 若林 緑
司会: Colin McKenzie
47. 12月4日「植松家地主経営と『賄人』制度」
駿河台大学経済学部 沼田 誠
司会: 友部 謙一
48. 12月7日 “Deconstructing Revisionism: The Case of Umemoto Katsumi”
ライデン大学 Rikki Kersten
司会: 小室 正紀
49. 12月9日「第二次世界大戦後の日本におけるドイツ企業——教師から生徒へ」
ルール・ボーフム大学歴史学部
Christian Kleinschmidt
司会: 矢野 久
50. 公共経済学セミナー, 21COE, TCER 共催
12月10日 “Marketing Channels and Retail Store Density in East Asia” (joint work with Tadashi Yukimoto)
横浜国立大学経営学部 松井 健二
司会: Colin McKenzie
51. 公共経済学セミナー, 21COE, TCER 共催
12月17日 “Comparing Alternative Paths to Free Trade with Endogenous Political Pressure” 学習院大学経済学部 椋 寛
司会: 若杉 隆平
52. 12月18日 “Do Global Credit Rating Agencies Think Globally? Evidence from Recent Research and Perspectives for East Asia”
パリ大学, 東京大学 Giovanni Ferri
司会: 吉野 直行, 竹森 俊平
53. 公共経済学セミナー, 21COE 共催
1月7日 “Trend and Cycles: A New Approach and Explanations of Some Old Puzzles” (joint work with Pierre Perron)
Department of Economics,
Boston University 和田 龍磨
司会: 木村 福成

54. 公共経済学セミナー, 21COE, TCER 共催
1月7日 “Welfare-Deteriorating Leadership by State-Owned Public Enterprises”
東京大学社会科学研究所 松村 敏弘
司会: グレーヴァ 香子
55. 1月8日 “Height and Biological Standards of Living in the Two Koreas”
ソウル国立大学人類学部 Sunyoung Pak
司会: 友部 謙一
56. 公共経済学セミナー, 21COE, TCER 共催
1月14日 “Learning Own Ability and Migration of the Young: Evidence from Thailand”
京都大学経済研究所 木村 雄一
司会: 瀬古 美喜
57. 公共経済学セミナー, 21COE, TCER 共催
1月14日 “Technology Adoption, Learning by Doing, and Productivity: A Study of Steel Refining Furnaces”
東京大学経済学研究科 大橋 弘
司会: Colin McKenzie
58. 公共経済学セミナー, 21COE 共催
1月21日 “Job Changers and Self-Development in Japan”
大阪大学大学院経済学研究科 吉田 恵子
司会: Colin McKenzie
59. 2月5日 「歴史環境学への誘い: 近世日本の森林構造の分析を踏まえて」
名古屋大学大学院環境学研究科 松原 輝男
司会: 友部 謙一
60. 2月5日 “Swedish Technology Management”
ヨテボリ大学, 岡山大学 Sang-Chul Park
司会: 吉野 直行
61. 2月26日 “Gifts of Civilization: Vector-Borne and Zoonotic Infectious Diseases in Hawaii”
ハワイ大学医学部 Richard Yanagihara
司会: 友部 謙一
62. 2月26日 “Communicating about Risk of Infectious Diseases”
University of California, Irvine
Haiou Yang
司会: 友部 謙一
63. 3月10日 “Public Health in Korea under Japanese Colonial Rule”
ハワイ大学医学部 Chai Bin Park
司会: 友部 謙一
64. 3月24日 “Proliferating Regional Trade Arrangements: Why and Whither?”
高麗大学, オーストラリア国立大学
Jong Wha Lee
司会: 竹森 俊平
65. 3月25日 “John Stuart Mill and Socialism”
Royal Holloway, University of London
Gregory Claeys
司会: 飯田 裕康 (名誉教授)
- <会長講演会>
12月16日 「経済学への思い～半生を振り返って～」
経済学会会長 島田 晴雄
司会: 高梨 和紘
- <コンファレンス>
12月20日～22日 “Mathematical Analysis in Economic Theory”
2月9日～11日 「組織とインセンティブの理論」
3月16日～17日 「環境政策のフロンティア」
- <シンポジウム>
3月11日～12日 「経済学～未知への挑戦」